

2023年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年8月10日

東

上場会社名 コンバム株式会社

上場取引所

コード番号 6265

URL http://www.convum.co.jp

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊勢 幸治

問合せ先責任者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊勢 幸治

(TEL) 03(3759)1491

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

2023年8月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	967	△22.9	169	△47.6	188	△45.7	123	△50.1
2022年12月期第2四半期	1,254	△1.0	323	24.7	347	25.8	248	35.0

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 210百万円(△22.3%) 2022年12月期第2四半期 270百万円(36.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	79.53	—
2022年12月期第2四半期	159.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第2四半期	6,011	5,683	93.8
2022年12月期	5,959	5,527	92.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 5,637百万円 2022年12月期 5,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	25.00	—	35.00	60.00
2023年12月期	—	25.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,852	△22.2	236	△61.6	270	△58.3	183	△60.0	117.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期2Q	1,657,000株	2022年12月期	1,657,000株
2023年12月期2Q	100,448株	2022年12月期	100,448株
2023年12月期2Q	1,556,552株	2022年12月期2Q	1,556,584株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和されたことにより経済活動が徐々に正常化に向かっている一方、物価上昇や為替の急激な変動の影響は大きく、依然として先行きが不透明な中で推移いたしました。また、世界的な半導体部品等については用途別に過剰・不足が混在する状況へ移行しており、原材料価格やエネルギー価格も高騰するなど、不透明感の強まりが影を落としております。

このような環境下、当社グループは、半導体製造装置関連での需要は、国内、アジアを中心に低調に推移いたしました。食品機械業界、自動車関連業界、各種自動機関連においても、部材の高騰や半導体部品供給不足の影響が長引き、潜在的な需要はあるものの実受注が低迷しております。

また、開発面においては、ロボット需要を見据えた電動化の推進と新素材及び新形状の吸着パッドの開発を進めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、連結売上高は967,027千円(前年同期比77.1%)、連結経常利益は188,305千円(前年同期比54.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は123,788千円(前年同期比49.9%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

前年好調でありました半導体製造装置及びメンテナンスの需要減少が顕著となり、真空機器及吸着パッドの受注が減少しました。生産設備の省人化、自動化の流れでのロボットハンド関連製品の需要は旺盛であり、新たな顧客の取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。

この結果、売上高は790,398千円(前年同期比80.4%)となりました。営業利益については154,782千円(前年同期比53.4%)となりました。

(韓国)

昨年前半までの半導体関連の特需が収束した事から、ソーラーパネル、カメラレンズおよび二次電池関連を中心に営業活動を展開し、現地生産によるセカンドブランド製品の拡充を行い、価格競争の中でユーザーニーズに対応してまいりました。この結果、売上高は205,094千円(前年同期比77.7%)となりました。営業利益については16,905千円(前年同期比88.4%)となりました。

(中国)

ゼロコロナ政策の解除以降、内需主導での経済は回復に至らず、また米国との半導体分野の輸出制限強化による生産回復が低調に推移しました。この結果、売上高は30,848千円(前年同期比52.0%)となりました。営業損失については3,946千円(前年同期は営業利益2,312千円)となりました。

(その他)

タイでは、タイ及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行い、売上高は23,896千円(前年同期比59.9%)となりました。営業損失については939千円(前年同期は営業利益2,912千円)となりました。また、米国子会社は清算手続きを進めており、売上高は7,091千円(前年同期比16.9%)となりました。営業利益については2,472千円(前年同期比26.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ30,765千円増加し、3,398,376千円となりました。これは主として、現金及び預金が127,575千円増加したのに対し、受取手形及び売掛金が23,113千円、電子記録債権が68,783千円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ20,469千円増加し、2,612,704千円となりました。これは主として、投資その他の資産が67,459千円増加したのに対し、有形固定資産が33,659千円、無形固定資産が13,331千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ51,234千円増加し、6,011,081千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ115,374千円減少し、189,126千円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が11,800千円、未払法人税が26,244千円、その他が69,836千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ10,698千円増加し、138,946千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ104,676千円減少し、328,072千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ155,911千円増加し、5,683,008千円となりました。これは主として、利益剰余金が69,309千円、その他有価証券評価差額金が52,125千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は93.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末に比べ124,074千円増加し、2,356,840千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益188,433千円に加え、減価償却費90,887千円、売上債権の減少額95,422千円等の増加要因に対し、仕入債務の減少額12,386千円、法人税等の支払額86,414千円等の減少要因により273,225千円の資金収入(前年同期は337,079千円の資金収入)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出49,259千円、無形固定資産の取得による支出52,036千円等の減少要因により105,161千円の資金支出(前年同期は189,536千円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払額54,212千円の減少要因により54,212千円の資金支出(前年同期は38,709千円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日に公表いたしました予想から変更しております。詳細につきましては、本日付「2023年12月期第2四半期連結業績予想と実績の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,361,265	2,488,840
受取手形	37,046	36,865
電子記録債権	295,094	226,311
売掛金	225,191	202,257
製品	206,918	200,007
仕掛品	119,414	110,795
原材料	95,007	110,707
その他	27,922	22,951
貸倒引当金	△249	△360
流動資産合計	3,367,611	3,398,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,784,852	1,783,025
減価償却累計額	△884,786	△910,531
建物及び構築物（純額）	900,065	872,494
機械装置及び運搬具	1,150,468	1,183,659
減価償却累計額	△822,370	△854,270
機械装置及び運搬具（純額）	328,098	329,389
土地	703,230	703,821
その他	776,917	784,078
減価償却累計額	△693,066	△708,199
その他（純額）	83,850	75,879
有形固定資産合計	2,015,244	1,981,585
無形固定資産	123,721	110,389
投資その他の資産		
投資有価証券	351,083	433,342
繰延税金資産	17,697	3,492
その他	84,488	83,894
投資その他の資産合計	453,269	520,729
固定資産合計	2,592,235	2,612,704
資産合計	5,959,846	6,011,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,337	21,537
未払法人税等	91,963	65,719
賞与引当金	22,900	20,227
役員賞与引当金	8,937	4,116
その他	147,363	77,526
流動負債合計	304,500	189,126
固定負債		
退職給付に係る負債	87,210	86,166
繰延税金負債	27,921	41,062
その他	13,116	11,718
固定負債合計	128,247	138,946
負債合計	432,748	328,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	3,686,423	3,755,732
自己株式	△119,786	△119,786
株主資本合計	5,327,722	5,397,031
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	92,891	145,017
為替換算調整勘定	66,414	95,658
その他の包括利益累計額合計	159,306	240,676
非支配株主持分	40,069	45,300
純資産合計	5,527,097	5,683,008
負債純資産合計	5,959,846	6,011,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	1,254,790	967,027
売上原価	572,923	457,160
売上総利益	681,867	509,867
販売費及び一般管理費	358,534	340,592
営業利益	323,332	169,274
営業外収益		
受取利息	1,197	176
受取配当金	8,484	8,825
受取地代家賃	5,997	5,752
為替差益	8,914	8,204
その他	4,072	1,541
営業外収益合計	28,666	24,501
営業外費用		
売上割引	85	61
減価償却費	3,785	3,788
その他	1,044	1,620
営業外費用合計	4,915	5,470
経常利益	347,083	188,305
特別利益		
固定資産売却益	374	1,948
特別利益合計	374	1,948
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	739
投資有価証券評価損	—	1,080
特別損失合計	0	1,820
税金等調整前四半期純利益	347,458	188,433
法人税、住民税及び事業税	79,927	60,582
法人税等調整額	18,910	4,495
法人税等合計	98,837	65,077
四半期純利益	248,620	123,355
非支配株主に帰属する四半期純利益	443	△432
親会社株主に帰属する四半期純利益	248,176	123,788

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	248,620	123,355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31,864	52,125
為替換算調整勘定	53,936	34,908
その他の包括利益合計	22,071	87,034
四半期包括利益	270,692	210,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,249	210,822
非支配株主に係る四半期包括利益	4,443	△432

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	347,458	188,433
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1,080
減価償却費	92,437	90,887
有形固定資産除却損	0	739
有形固定資産売却損益 (△は益)	△374	△1,947
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61	96
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,106	△2,887
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,137	△4,821
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△45,393	△1,079
受取利息及び受取配当金	△9,681	△9,002
売上債権の増減額 (△は増加)	26,738	95,422
仕入債務の増減額 (△は減少)	△21,409	△12,386
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△7,548	5,524
その他	58,094	55
小計	433,016	350,114
利息及び配当金の受取額	9,681	9,002
法人税等の還付額	356	523
法人税等の支払額	△105,975	△86,414
営業活動によるキャッシュ・フロー	337,079	273,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△122,530	—
定期預金の払戻による収入	122,530	1,888
投資有価証券の取得による支出	△7,716	△7,955
有形固定資産の取得による支出	△114,358	△49,259
有形固定資産の売却による収入	374	2,202
無形固定資産の取得による支出	△67,836	△52,036
投資活動によるキャッシュ・フロー	△189,536	△105,161
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△38,709	△54,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,709	△54,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	23,404	10,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	132,237	124,074
現金及び現金同等物の期首残高	1,841,278	2,232,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,973,516	2,356,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	886,451	226,978	59,366	1,172,796	81,993	1,254,790
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	886,451	226,978	59,366	1,172,796	81,993	1,254,790
セグメント間の内部売上高 又は振替高	96,280	36,860	—	133,140	—	133,140
計	982,731	263,839	59,366	1,305,937	81,993	1,387,931
セグメント利益	289,665	19,134	2,312	311,113	12,219	323,332

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	311,113
「その他」の区分の利益	12,219
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	323,332

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	715,207	189,983	30,848	936,039	30,987	967,027
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	715,207	189,983	30,848	936,039	30,987	967,027
セグメント間の内部売上高 又は振替高	75,190	15,110	—	90,300	—	90,300
計	790,398	205,094	30,848	1,026,340	30,987	1,057,328
セグメント利益	154,782	16,905	△3,946	167,741	1,532	169,274

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	167,741
「その他」の区分の利益	1,532
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	169,274